

2007年4月～2015年3月「鎌倉市テニス協会の活動報告・記録」

2007年3月24日総会に於いて役員改選があり、5期10年間の長きに渡りその任を果されてきた鎌倉ローンテニス倶楽部左近会長より、鎌倉宮カントリーテニスクラブ岡井新会長へバトンタッチされた。岡井会長時代の2007年4月より2015年3月までの活動報告・記録を以下に記す。

1. 1976年に鎌倉市テニス協会は創立され、来年2016年には創立40周年を迎える。但し加盟団体の変遷は少子高齢化等の影響もあり2007年9月の加盟団体数は22(クラブ8、同好会4、実業団10)、会員数2,900人、コート面数50面であったが、2014年1月の加盟団体数は18(クラブ7、同好会3、実業団8)、会員数2,100人、コート面数33面と全て減少となった。

2. 神奈川県テニス協会(市町協会・高体連・女子連の25団体)

1) 評議員：岡井政義会長、理事・総務委員：鈴木孝理事長、理事・実業団副委員長：吉田清副理事長、審判委員：和田博興副会長、行事委員：野本剛志理事、普及指導委員：澤田誠理事、実業団委員：岡崎弘毅理事をそれぞれ派遣。

2) 県協として独立した事務所を以前より各委員会の意見も集約しながら検討を重ねてきた。2014年7月より「事務所開設検討プロジェクト委員会」が開設された。経費・効果・設置場所・横浜市テニス協会と共存等、審議を重ねているが、2015年3月現在結論に至ってなく引き続き検討中。

3. 鎌倉市体育協会(30団体)

1) 岡井会長を常任理事として派遣。

2) 体協表彰実績

(表彰年)	(優秀選手)	(優秀団体)	(体育功労者)
2007年	1名	—	1名
2008年	7名	—	—
2009年	4名	—	1名
2010年	9名	—	—
2011年	5名	—	1名
2012年	3名	—	—
2013年	—	1団体	—
2014年	—	1団体	—
2015年	1名	2団体	—

2013年より資格として在クラブが除かれ、在住・在勤・在学のみになっ

た。これにより当協会の表彰者申請は大幅に減少してきた。

4. 鎌倉市テニス協会の事業運営委員会及び理事会開催

事業運営委員会を総務委員会・実業団委員会・競技委員会・普及指導委員会・4委員会とし、競技委員会及び普及指導委員会へは各クラブより委員を推薦し、市テニス協会全体で運営出来る様に加盟団体の協力を戴いた。

理事会は2月、12月の2回/年であったが2011年より2月、8月、12月の3回/年とし情報交換がよりできる様にした。

5. 夏休み親子テニス教室

2015年で第10回を迎える事になる。開催日や開催時間等の運営の詳細について普及指導委員会で前年の反省を含めながら協議を重ねた。

第4回開催からポスター作製・市内掲示板70カ所への掲示、市内公立小中学校及び公私立高校へポスター・要項の配布を始めた。

「広報かまくら」「萌」等へも要項の掲載を申請。笛田・西御門コート、市内体育館、市役所、子供会館へのポスターの掲示。市広報課経由でミニコミ誌へ要項の配布をおこなっている。

参加者数は100人前後で推移している。今後は加盟団体の協力を是非戴き参加者数を120人前後にしていきたい。

第9回より傷害保険以外に賠償保険にも加入し不足の事態に備える様にした。賠償保険加入については県協からの要請もあるので各大会でも検討する必要がある。

6. 鎌倉市民大会

少子高齢化により参加者減少、対応策として18歳以下の参加料半額、広報活動を親子テニス教室に準拠しての実施、高校テニス部顧問等の意見も集約し2011年第42回大会より新種目として18歳以下男女複を設定した。又試合日は高校のスケジュールを把握した上で決定する様にした。

7. その他

1) 三菱電機コート借用

2009年度より鎌倉トーナメント、鎌倉市民大会、熊谷杯の3大会に於いてそれぞれ1日4面のコート借用をお願いし今日に至っている。特に雨天後笛田コートがほとんど使用出来なくなる為に大会運営が大変助けられている。

2) 実業団関係

三菱電機が 2000 年に日本リーグ入りを果たした、今までは 2010 年第 25 回の準優勝が最高であった。

本年 2015 年 2 月 13~15 日開催された「第 29 回テニス日本リーグ」において栄えある優勝を遂げた。

3) 神奈川県クラブ対抗戦

鎌倉宮カントリーテニスクラブが 3 連覇達成。第 34 回 (2012 年度) 第 35 回 (2013 年度) 第 36 回 (2014 年度、2015 年 1 月 18 日開催) と連覇した。これは第 2 回~4 回のカントリー、第 6 回~8 回の鎌倉ローンについてとなる。

4) 全国都市対抗・神奈川県予選

県代表になるべく頑張ってきたがなかなか達成出来ず。但しこの 2015 年 4 月の予選には一般女子で宇野真彩選手 (SSC)、永瀬真衣選手 (玉川大)、鎌田琴衣選手 (湘南工大付属高 3 年)、木村有希選手 (湘南工大付属高 2 年) の 4 名もの鎌倉市在住者を見出し出場依頼。

一般男子はカントリー高橋和宏選手 (湘南工大付属高 2 年) へ出場依頼。一般男女が将来明るい見通し、順調に各選手が成長する事を期待する。一般男女単複 4 ポイントの占める割合が大きく、ここを頑張らないと県代表になるのは大変難しいものと思われる。

5) 市営コート増設計画・笛田コートオムニ化計画

2008 年 5 月に市スポーツ課より山崎浄水場の屋上に 4~6 面テニスコート (フットサルコートとの共用) 新設予算の申請をしたのでテニス協会の要望を提出するよう要請があった。岡井・平野・矢部・澤田・楠原・鈴木で意見を纏めて回答した。2008 年度予算申請、2009 年度設計、2010 年度建設、2011 年 3 月完成が当初計画であった。

2008 年 12 月市体育協会山口会長へ岡井・鈴木で面談、スポーツ課相川課長同席され計画促進を要請した。その後は山崎浄化センターバイオ化施設の新設計画や鎌倉市ごみ処理の設備検討が先になり沙汰やみとなった。

2013 年 2 月に中沢克之市会議員より笛田コートオムニ化を議会へ働き掛けてしているのでテニス協会の協力要請あり。ソフトテニスプレーヤー第二小学校 6 年生に全国的にも強い選手がいる事、ソフトテニスの試合はオムニコートで行われる事より、笛田コートオムニ化推進をソフトテニス

協会・父兄・学校が強く要望しているがその後進展していない。鎌倉市は当面ゴミ問題が解決するまではスポーツ施設への予算配分は期待薄いものと思われる。

6) 慶事

2007年10月	鎌倉シーサイドTC	創立30周年	鎌倉パークH
2008年05月	七里ガ浜TC	創立40周年	鎌倉プリンス
2009年06月	鎌倉いずみTC	創立30周年	鎌倉芸術館
2011年07月	鎌倉ローンTC	鎌ト80回記念	鎌倉市内
2013年10月	鎌倉宮カントリーTC	創立60周年	鎌倉プリンス

7) 内規の制定

- *大会時のコート使用料規程(2008年12月7日)
- *役員・委員の交通費及び日当規程(2010年2月27日)
- *特別基金の設立(2012年2月25日)
- *慶弔に関する内規(2012年9月1日)
- *規約違反に関する内規(2013年11月30日)

8) 2011年3月11日東日本大震災

東北地方沿岸部を中心に大被害が発生、テニス関係でも各地で大きな影響があった。市テニス協会では3月13日が総会日であったが急遽延期し3月27日カントリーにて開催。予定会場の市体育館は震災関係者向けに使用されて、暫くは一般での使用は出来なくなった。

9) 特別基金の設立

2012年2月の理事会において、「当協会創立記念事業費及び全日本都市対抗出場準備金」として「特別基金口座」を設ける事にした。創立以来の繰越金の一部をこの目的の為に特別基金口座へ繰り入れをした。

2014年は「錦織選手」の大活躍で日本テニス界は大変明るい年となった。9月全米オープン男子シングルスで日本人初の決勝進出、11月ワールドツアーファイナルへ日本人で初出場しベスト4、2014年最終世界ランク5位となり、若いプレーヤーへ夢・希望・勇気を与えてくれる快挙となった。

2015年3月

鎌倉市テニス協会 理事長 鈴木 孝